

【八幡市地域公共交通網再編案に対する意見募集の結果について】

	意見要旨	考え方
1	<p>美濃山地域からは子供の習い事への往復や、駅へ向かうにもバスでは乗り換えが必要である。自転車では途中通過する国道は交通量が多く危険であり、スクラップ前の道もまた、夜は暗く昼間でも整備されておらず危険であるため、市のコミュニティ交通に美濃山もルートにいれてほしい。</p>	<p>現在、美濃山地域については、既に鉄道駅（京阪樟葉駅、JR松井山手駅）と接続する路線があり、石清水八幡宮駅へも大芝などの停留所で乗り換えて行くことができます。利用者数が少なければ路線バスの減便・撤退に繋がる可能性が高くなるため、既存の路線バスを維持するためにも、現行の路線バスを積極的にご利用くださいますようお願いいたします。</p> <p>今後は乗継ぎにつきましても、利便性向上を目指し停留所周辺環境改善を検討していく予定です。</p>
2	<p>八幡長町に住んでいる。子供も成人し、市役所関係の書類もマイナンバーがあれば市内のコンビニで発行可能となったが、八幡市内のコンビニに行くには、車の免許もないので、バスと電車を乗り継ぎ、石清水八幡宮駅まで行く必要がある。八幡長町、樋之口では市内方面へのバスの利用者数が少ない等あるかと思うが、同じように税金を払っているにも関わらずまるでルートに組み込まれないのは軽視されているように思う。せめて1度くらい検討してほしい。</p>	<p>八幡長町・樋ノ口地域は、再編案のルートとは大きく異なるため、コミュニティバスルートの新設は難しいと考えておりますが、今後八幡長町・樋ノ口地域と石清水八幡宮駅方面を結ぶ方法についてデマンド交通の活用可能性等、地域コミュニティ交通の調査・研究を進めてまいります。</p>
3	<p>欽明台東に住んでいるが、コミュニティバスの恩恵を受けたことがない。あまり必要がないと感じていたが、今は市役所に行く方法がない。催し物にも参加したいと思っており、交通の便が全くなくタクシーを使うしかないが、タクシーは高額すぎて使うことができない。長らく税金を払ってきているのに何故地域で交通格差があるのか。ルートや金額の前に、まずこの不公平感を訂正してほしい。</p>	<p>現在、美濃山地域から市役所方面へご用向きの際は、大芝などの停留所での乗継ぎをご案内しております。</p> <p>美濃山地域においては、現時点において鉄道駅（京阪樟葉駅、JR松井山手駅）と接続する路線がございます。利用者数が少なければ路線バスの減便・撤退に繋がる可能性が高くなるため、既存の路線バスを維持するためにも、まずは現行の路線バスを積極的にご利用いただきますようお願い申し上げます。</p> <p>今後は乗継ぎにつきましても、利便性向上を目指し停留所周辺環境改善を検討していく予定です。</p>
4	<p>欽明台地域からはコミュニティバスの利用は現実とても難しいルートとなっており、普段使いにも通勤通学にも使えない。せめて夏だけでも子供が図書館や市役所のコミュニティスペース、プール等へ行けるようにできないか。また市役所や通勤通学に石清水八幡宮駅まで利用できるようなにはならないか。赤ちゃんの健診へ行くのも市役所まで行かなければならず、大変な思いをした。臨時的なものでもよいのでバスを運行するか、すすすくで検診するなどの対応をしてほしかった。また、京阪電車を使うには現在では樟葉までバスで30分ほど乗る必要があるため、石清水八幡宮駅へ出られると良いと思う。</p>	<p>現在、美濃山地域から市役所方面へご用向きの際は、大芝などの停留所での乗継ぎをご案内しております。</p> <p>美濃山地域においては、現時点において鉄道駅（京阪樟葉駅、JR松井山手駅）と接続する路線があり、利用者数が少なければ路線バスの減便・撤退に繋がる可能性が高くなるため、既存の路線バスを維持するためにも、まずは現行の路線バスを積極的にご利用いただきますようお願い申し上げます。</p> <p>今後は乗継ぎにつきましても、利便性向上を目指し停留所周辺環境改善を含め検討していく予定です。</p>

	意見要旨	考え方
5	<p>市役所方面への直通バス実現および30系統の休日運休・迂回・路線短縮の復元に向けたコストコ渋滞の解消と、欽明台地域と八幡市役所方面の直通バスの運行を希望する。</p> <p>市役所に行くには京阪バスから大芝・松花堂前でコミュニティバスへ乗り換えが必要。行きのバス停は歩道すがすが、帰りは歩道のない細い道であり、車やバイクがすれ違う時には車体がバス停に大きく寄って来るので危険を感じる。また、知人の子育て世代からは、赤ちゃんと上の子を連れて母子健康センターに行く時は乗り継ぎで時間がかかり、ほぼ一日仕事になると聞く。これからの住民の高齢化を見据えつつ、公共交通だけで安心して暮らしていけるまちづくりをしてほしい。</p>	<p>これまでも路線バスを運行する京阪バス㈱に対して当該運休路線の再開を求めてまいりましたが、引き続き再開を求めてまいります。</p> <p>現在、美濃山地域から市役所方面へご用向きの際は、大芝などの停留所での乗継ぎをご案内しております。</p> <p>美濃山地域においては、現時点において鉄道駅（京阪樟葉駅、JR松井山手駅）と接続する路線がございます。利用者数が少なれば路線バスの減便・撤退に繋がる可能性が高くなるため、既存の路線バスを維持するためにも、まずは現行の路線バスを積極的にご利用いただきますようお願い申し上げます。今後は乗継ぎにつきましても、利便性向上を目指し停留所周辺の環境改善を含め検討していく予定です。</p>
6	<p>私は障害があり市民体育館近くの作業所に月一金で通所している。これまでは、コミュニティバス1本で通所できていたが、路線バスを使う等、他の手段を考えなければならない。自身も困るが、同じように作業所に通所している仲間も4～5名おり、困ると思う。通所時間に合わせたダイヤを配慮してもらいたい。また、昨今利用者が増え、出入り口付近が混雑するようになり乗降がし辛くなった。車両を大きくして2扉にして、精算も関東や名古屋の様に前乗り、後出にしてほしい。</p>	<p>通所施設への聞き取りを実施し、現在のコミュニティバス利用実績をふまえ、コミバス西ルートの利用状況を考慮した上で、ダイヤ調整について検討いたします。</p> <p>乗降の円滑化を目的とした前後2扉車への変更におきましては、コミュニティバスを運行する区域には車両が通行するための道路幅や地形等に課題があり、現行よりも大きな車両での運行は難しいと考えています。</p>
7	<p>自身が住んでいる美濃山でも高齢化は急速に進んでおり、同時に高校生までの子どもたちも沢山いる。子どもの塾や土曜日の通学には保護者の車での送迎が欠かせず、高齢者は市内の病院へ行くにはタクシーを利用せざるを得ず、呼び出し料金300円プラス運賃（往復）、医療費で大変困っている。美濃山・欽明台地域から市民体育館や文化センターには乗り換えが大きなハードルとなり、こうした公共施設の利用を希望する方の足も遠のいている。以前よりは改善されたものの、雨の土休日にはコストコ渋滞も発生しており、運休になっている土休日の京阪バスの再開も懸案のままである。</p> <p>八幡市においては、</p> <ol style="list-style-type: none"> ①京阪バスに対して運休している路線の再開と共に、欽明台・美濃山地域から、文化センター（石清水八幡宮駅方面）に直接運行するように働きかけてもらいたい。 ②コミバスの路線を増やして、美濃山・欽明台地域と文化センターや体育館等に行きやすくしてほしい。 ③通院や買い物に気軽に利用できるデマンドタクシーや福祉タクシーを当地域にも充実させてほしい。 ④これらの実現のために国の制度や財政支援を受けられるようさらに研究してもらいたい。 	<ol style="list-style-type: none"> ①これまでも路線バスを運行する京阪バス㈱に対して当該運休路線の再開を求めてまいりましたが、引き続き再開を求めてまいります。 ②美濃山地域から文化センターや体育館等へは乗り継ぎ利用により行くことができますが、今後は乗継ぎにつきましても、利便性向上を目指し停留所周辺の環境改善を検討していく予定です。 ③これからも地域特性に応じた最適な公共交通について調査・研究してまいります。 ④国の制度や財政支援について更なる研究を行ってまいります。

	意見要旨	考え方
8	<p>80歳を越え、現状移動手段は公共交通に頼る以外ない。 コミバス・京阪バスを利用しているがどちらも1時間に1本しかなく、もう少し本数を増やしてほしい。 運賃はコミバス、京阪とも値上げしないほしい。 橋本地域に住む者として平野山、狩尾、興正地域にもコミバスのルートを延ばしてほしい。</p>	<p>現在の再編案における、橋本地域を含むコミュニティバス西ルートは、現行のコミュニティバスの車両を活用しての運行を予定しており、狩尾・興正地域においては道路幅や地形等の問題があり、ルートの延伸は難しいと考えております。ただ、当該地域が急斜面の多い場所であり、停留所から住宅までの路程が短くとも大変に厳しいものであることは理解しておりますため、今後につきましてはバス停や駅から住宅の間の移動手段に係る調査・研究を進めてまいります。</p> <p>定時運行ダイヤの確保に関する課題があるため、現在の再編案では、現在のコミュニティバス利用実績をふまえ、コミバス西ルートは1時間に1本、コミバス東ルートは2時間に1本の運行としています。路線バスについては、運行主体である京阪バス㈱に確認したところ、運転士の確保などに課題があるため、増便は難しいとのことです。</p> <p>再編案につきましては、地域内の運賃統一を図るとともに、路線バスへの配慮を行い、また、燃料費や物価高騰、人件費の上昇による経費の増加が見込まれるため、持続可能な運行の確保を目的として運賃を250円にいたします。その一方で、石清水八幡宮駅への延伸やイズミヤを乗り継ぎ拠点として活用するなど、運行区域の拡大を図ることによって利便性の向上を目指してまいります。</p> <p>また、路線バスについては、運行主体である京阪バス株式会社に確認したところ、燃料費や物価の高騰、人件費の上昇に伴う経費増大が予想されるため、運賃の増額が実施されているとのことです。</p>
9	<p>東部地域から男山病院・中央病院・八幡病院、市役所へはイズミヤで乗り換え可能と言うが、東コースは2時間に1本、西コースは1時間に1本と、バスは鉄道のように時間通りに到着するものではないのに、うまく行くとは思えない。病院は予約制であり、帰路は時間帯にもよるが大変な時間待ちが生じると思われる。東部地区は1人1台車を持っており、バスを利用するのは高齢者である。乗り換えなしで各病院に東コースの延長を考えたので、検討してほしい。</p>	<p>今回の再編案においては、コミュニティバス西ルートへの乗り換えをお願い申し上げます。1日乗車券は継続してご利用いただけるようにし、乗り換え時の費用負担を軽減するための工夫を行います。乗り換えなしでのバスルートは確かに利便性は高く需要も多くございますが、需要が多い分経由する箇所が増え、大回りのルートにならざるを得ず、所要時間が却って増えてしまったり朝夕の込み合う時間帯には遅延が発生する等のデメリットが考えられます。</p> <p>過去、他市町村で実施された公共交通においてはこうしたデメリットから利用者離れが起こっているケースは少なくなく、今回の再編案においては乗継ぎにつきましても、利便性向上を目指し停留所周辺の環境改善を検討してまいります。</p>
10	<p>現在京阪バスの運行も減少し運転免許証を返納する方も多く、八幡市役所・病院・スーパー等の買い物等に行く交通手段もなく、コミュニティバスのルートについて再検討してほしい。 現在の案では京阪バス「しで原バス停」を過ぎ次の信号を西方向に右折するようになっているが、そのまま南進し京阪バス「長谷バス停」まで通過するよう延長してほしい。</p>	<p>路線バスの減便をふまえ、コミバス東ルートを一部修正し、長谷停留所まで延伸いたします。</p>

	意見要旨	考え方
11	<p>今回のルート案について、して原を南下し柿ヶ谷地域まで延伸してほしい。</p> <p>具体的には、①A37棟を左折し、A65棟前から第2住宅101棟經由し業務SP前まで通るルート、②して原から京阪バスの長谷バス停までの延伸およびA37棟を右折し、団地内を北に上りA65棟から第2住宅の101棟-113棟、公園前、業務スーパーを右折し、松里方面に行くルート（停留所は、数か所設置希望）が案として考えられる。</p> <p>また、柿ヶ谷地域住民のデマンドタクシー利用について検討してほしい。</p> <p>コミバス、タクシー利用料金について、継続して利用できる金額にしてほしい。</p>	<p>路線バスの減便をふまえ、コミバス東ルートの一部修正し、長谷停留所まで延伸いたします。</p> <p>柿ヶ谷区域内へは、道路幅や地形、定時運行ダイヤの確保などの課題があるため、延伸は難しいと考えております。長谷停留所からのご利用をお願い申し上げます。</p> <p>今後も市内全域を対象とした調査・研究を進めますため、将来的には各々の地域へのデマンド交通の導入も視野に入れつつ、検討してまいります。</p>
12	<p>再編案は、今までのコミバスとちがって乗り換えがあり実際に利用すると大変だと思う。</p> <p>地図を見たところ、病院は通るのでよかった。一人暮らしで不便なので、少しでも便利に生活出来るようにしてほしい。</p>	<p>現行の再編案におきましては、ご指摘のとおり乗り換え利用が前提ではございますが、市民の皆さまの利便性を向上できるよう、今後も調査・研究を進めてまいります。調査・研究を進めるにあたりましては、また市民の皆さまのお声をお聞きする機会があるかと思いますため、その際には率直なご意見・ご要望をいただければと存じます。</p>